資料７

令和９年度技術士試験委員（第一次試験）の推薦時期及び推薦数について（案）

令和８年　月　日
科学技術・学術審議会
技術士分科会試験部会

１．令和９年度技術士試験委員（第一次試験）の構成

試験委員の構成については、①作問委員及び②審査委員とする。各々の役割は、以下のとおりとする。なお、試験問題の最終的な決定権限は、作問委員が持つものとする。

① 作問委員：問題案の作成を担当するものとする。
② 審査委員：出題問題の正確性及び妥当性のチェックを行うものとする。

２．試験委員の推薦について

作問委員については、各科目担当の試験部会専門委員が推薦し、審査委員については、指定試験機関である公益社団法人日本技術士会の理事の職にある試験部会専門委員が推薦するものとする。

なお、試験委員の推薦を担当する専門委員に欠員等が生じた場合には、部会長または部会長代理が指名する者が推薦することができる。

３．試験委員の推薦時期

試験問題の質の一層の向上を図り、適切な作問を行うため、作問委員の推薦期間は令和８年 12 月下旬までとし、作問委員による試験委員総会を令和９年２月中旬に開催する。これにより、問題作成期間として約３ヵ月を確保する。

審査委員の推薦期間は令和９年３月上旬から３月下旬までとし、審査委員による試験委員総会を７月下旬に開催する。

４．試験委員の推薦数

推薦の目安とする試験委員数は別紙のとおり。

実際に推薦する試験委員数が、推薦の目安とする委員数と異なる見込みである場合には、部会長の了承を得るものとする。

（別紙）

令和９年度技術士第一次試験の科目別試験委員数（案）

科目		推薦の目安数(※１)		令和８年度実績	
		作問委員	審査委員	作問委員(※２)	審査委員
専門科目	機械	6	4	6 (2,574)	4
	船舶・海洋	5	3	5 (40)	3
	航空・宇宙	5	3	5 (75)	3
	電気電子	6	2	6 (1,987)	2
	化学	5	3	5 (244)	3
	繊維	5	3	5 (35)	3
	金属	5	3	5 (139)	3
	資源工学	5	3	5 (33)	3
	建設	8	3	8 (12,389)	3
	上下水道	9	3	9 (1,463)	3
	衛生工学	8	4	8 (498)	4
	農業	8	4	8 (845)	4
	森林	5	4	5 (417)	4
	水産	5	3	5 (133)	3
	経営工学	4	4	4 (218)	4
	情報工学	7	2	7 (504)	2
	応用理学	8	3	8 (417)	3
	生物工学	5	4	5 (201)	4
	環境	9	5	9 (1,144)	5
	原子力・放射線	6	3	6 (113)	3
	計	124	66	124 (23,469)	66
基礎科目		16	10	16 (23,710)	10
適性科目		6	4	6 (23,719)	4
合計		146	80	146 (23,719)	80

(※１)追加の推薦も可能とする予定。
(※２)( )内の数は、受験申込者数である。